

ほく-障がい者スポーツ基金

2020年度 寄付先活動報告

2020年度寄付先について

2019年度のSDGs(パラスポーツ応援)私募債発行合計額は7億4千万円となり、2020年度は660万円を寄付しました。寄付先の選定に際しては「ほく-障がい者スポーツ基金選定協議会」にて寄付目的に関する2つのカテゴリーを設定し、次の14先に決定しました。

カテゴリー1：世界を目指す選手の応援

金澤 碧詩 選手<IDアルペンスキー>
久保 和廣 選手<CPサッカー>
斉藤 伸弘 選手<パワーリフティング>
鈴木 秀則 選手<車いすカーリング>
須藤 悟 選手<パラアイスホッケー>
高橋 宏美 選手<車いすカーリング>
長江 充 選手<クロスカントリースキー>
永瀬 充 選手<パラアイスホッケー>
三澤 英司 選手<パラアイスホッケー>
依田 航 選手<IDサッカー>

カテゴリー2：普及・振興活動への支援

公益財団法人
北海道障がい者スポーツ協会

一般社団法人
札幌市障がい者スポーツ協会

道東地区障がい者スポーツ指導者協議会

函館地区障害者スポーツ指導者協議会

金澤 碧詩（かなざわ あおし）選手【札幌市】

1. 選手プロフィール

- ・障がい 合併障がい
- ・競技 IDアルペンスキー

2. 寄付金の使い道

- ・スキー用品、チューンナップ、強化合宿、大会エントリー費用等

3. 活動の成果

- ★2022日本IDアルペンスキー選手権大会
大回転DF回転4位
- ★2022ジャパンパラアルペンスキー競技大会
スーパー大回転 第1戦 2位、第2戦 2位
大回転 第1戦 3位、第2戦 2位
回転 2位

4. 今後の活動予定

- 2022年4月にもレースがあり、継続して頑張っていく。
今後は、夏から基礎トレーニングを行い、一番高い表彰台に立てるよう頑張る。

強化指定B選手



齊藤 伸弘 (さいとう のぶひろ) 選手【帯広市】

1. 選手プロフィール

- ・障がい 先天性二分脊椎症
- ・競技 パワーリフティング

2. 寄付金の使い道

- ・練習及び大会参加のための交通費・宿泊費・介助者謝礼金等

3. 活動の成果

- ★チャレンジカップ京都代替記録会 (東京パラアリーナ)
男子88キロ級 第1位 記録160キロ

4. 今後の活動予定

- 昨年度はコロナの影響で国際大会を辞退しました。
本年度は中国でのアジアパラがあります。本基金のおかげで費用の心配をせず練習に集中出来た事で実力を格段に上げる事が出来ました。
本年度の最大の目標は、全日本選手権力での日本記録更新です。

日本代表選手



鈴木 秀則 (すずき ひでのり) 選手【帯広市】

1. 選手プロフィール

- ・障がい 胸腰椎多発破裂骨折による両下肢機能全廃
- ・競技 車いすカーリング

2. 寄付金の使い道

- ・国際大会出場のための海外渡航費用

3. 活動の成果

- ★Wheelchair-B Curling Championship 2021
(フィンランド)
2勝7敗 全体9位

4. 今後の活動予定

- 地元帯広でのチーム活動。
北海道選手権および日本選手権への出場。

日本代表選手



須藤 悟 (すどう さとる) 選手【中標津町】

1. 選手プロフィール

- ・障がい 両下肢離断
- ・競技 パラアイスホッケー

2. 寄付金の使い道

下記費用に充当。

- ・競技用スティック20本(WARRIOR社製)
- ・競技用スケートブレード5組(BLADE TECH HOCKEY社製)
- ・コンタクトレンズ
- ・コンディショニング機器(HyperIce社製)
- ・氷上練習移動高速料金

4. 今後の活動予定

北海道を拠点としたアダプテッドスポーツグループへ参加し、競技普及と選手育成を目指していきたいと考えています。

また、パラアイスホッケー競技団体と引き続き連携をとり、国際レベルに向けた選手育成を行う予定です。

機会があれば、またご支援していただけますと幸いです。

日本代表選手



高橋 宏美 (たかはし ひろみ) 選手【札幌市】

1. 選手プロフィール

- ・障がい 第12胸椎脱臼骨折・脊髄損傷
- ・競技 車いすカーリング

2. 寄付金の使い道

下記費用に充当。

- ・メンタル・作戦勉強会 ・ジム、フィジカルトレーニング施設利用
- ・アスリート向け英会話教室、指導者養成講習会参加
- ・投球時に使用する体幹を支えるバー作成 ・ビデオカメラ代

3. 活動の成果

- ★2021年4月に日本代表として世界大会に出場
(北京パラ出場権獲得はならず)

4. 今後の活動予定

4月15～18日に全国車いすカーリング大会に出場。優勝できれば11月にフィンランドで行われる世界B選手権大会への出場権が与えられます。代表権を必ず勝ち取り、わたしたちが日本代表として活動できるように頑張ります。

また、5月7～8日で札幌で行われるユニバーサルカーリング大会にも出場します。

日本代表選手



長江 充（ながえ みちる）選手【旭川市】

1. 選手プロフィール

- ・障がい 知的障がい
- ・競技 クロスカントリースキー

2. 寄付金の使い道

- ・クラシカル、スケーティング用スキー、ビンディング、ストック購入。5年前の古い板を使用していたため技術、タイム向上につながった。
- ・トレーニングウェア購入。高校時代の指定ジャージなどを使用していたので機能が上がり、トレーニング効果が向上。
- ・クロスカントリースキー用グローブ購入。先輩から頂いた物を使用し手が冷たくなることが増えていたので練習、レースに集中できた。

3. 活動の成果

- ★全日本障害者クロスカントリースキー競技大会 6位

4. 今後の活動予定

- ・6月上旬（北海道強化大会：びえいヘルシーマラソン）
- ・9月下旬（北海道強化大会：旭川ハーフマラソン）
- ・1月（全日本障害者クロスカントリースキー競技大会参加）
- ・3月（VIRTUS（INAS）スキー世界選手権大会）

強化指定B選手



永瀬 充（ながせ みつる）選手【札幌市】

1. 選手プロフィール

- ・障がい CIDPによる両上下肢機能障害
- ・競技 パラアイスホッケー

2. 寄付金の使い道

- ・用具代（防具、ホッケーバッグ、スティック等）
- ・練習参加のための交通費、コンディショニング代（鍼灸等）

3. 活動の成果

- ★世界選手権Bプール(スウェーデンエステルズンド) 2勝3敗 4位
→最終予選進出決定
- ★北京パラリンピック最終予選(ドイツベルリン) 0勝5敗 6位
→北京パラリンピックの出場権獲得ならず

4. 今後の活動予定

2026年ミラパラリンピックに向けて新たなシーズンが始まります。来年春に開催予定の世界選手権Bプールで上位2カ国に入って、Aプール昇格することが日本チームの直近の目標になり、そのために合宿を重ねて強化に取り組んでいきます。私自身はまずは基礎的な筋力アップに取り組み、プレーの向上を目指すと同時に、次世代の育成に取り組んでいきます。

日本代表選手



三澤 英司（みさわ えいじ）選手【上川郡】

1. 選手プロフィール

- ・障がい 右股関節切断
- ・競技 パラアイスホッケー

2. 寄付金の使い道

- ・全日本代表合宿、世界選手権防具輸送
- ・トレーニング器具購入
- ・競技道具購入
(フレーム、ブレードホルダー、スティック、スケートブレード、ピック)

3. 活動の成果

- ★北京パラリンピック最終予選(ドイツベルリン) 0勝5敗 6位
→北京パラリンピックの出場権獲得ならず

4. 今後の活動予定

パラアイスホッケー全日本代表合宿が2022年5月から開始予定。
日本代表として2023年5月に開催予定の世界選手権Bプール
出場に向け、代表合宿及び日々の自主トレーニングを実施。

日本代表選手



依田 航（よりた わたる）選手【札幌市】

1. 選手プロフィール

- ・障がい 知的障がい
- ・競技 I Dサッカー

2. 寄付金の使い道

- ・練習用具代、トレーニングシューズ購入、所属チームの活動費など

3. 活動の成果

- ★2021年11月日本代表合宿
→シュートをセーブする力が良かった。
- ★2022年1月日本代表合宿
→初めての戦術で戸惑うこともあったが、少しずつ理解できた
- ★2022年3月 日本代表合宿
→パスを回すスピードやテンポが遅いので、速くできるようにする

4. 今後の活動予定

もう一つのワールドカップフランス大会。

日本代表候補選手



公益財団法人北海道障がい者スポーツ協会【札幌市】

1. 活動の概要

北海道における障がいのある人のスポーツの普及と振興を図り、スポーツを通じた体力づくりや仲間づくりによる社会参加を啓発するとともに、健康で生きがいのある地域社会の実現に努め、福祉の向上と健全な社会の発展に寄与することを目的として活動。

2. 寄付金の使い道・活動の成果

本道の障がい児者が、身近な地域において自主的、積極的、継続的にスポーツに参加できる環境づくりを目指し、道内の総合型地域スポーツクラブと連携・協働し、地域全体の障がい者スポーツの振興体制の整備に寄与することを目的とした「障がい児者スポーツ拠点づくりプロジェクト事業」を実施しました。

実施地域については、五カ所（沼田町、音更町、札幌市、釧路市、余市町）とし、一カ所につき3回の事業を展開し、それぞれの地域において、スポーツ振興の活性化を図りました。

地域のコミュニティの役割を果たしている総合型地域スポーツクラブにコーディネーターを派遣し、障がい児者に適応したスポーツ種目を紹介するとともに、競技ルールや用具の説明を行い、実技及び応用技術やトレーニング方法などを指導しました。

各地域の実情に応じたスポーツ拠点づくりを推進しましたが、中でもボッチャ競技の実施に関する要望が多かったことから、ほっくー基金を充当してボッチャ用具を購入し、各開催地に設置することで、広域な北海道においても、様々な競技が出来る環境づくりを推進することが出来ました。

3. 今後の活動予定

■障がい者スポーツ大会の開催

（はまなす車いすマラソン、夏季冬季北海道障がい者スポーツ大会、アーチェリー大会、水泳大会、卓球競技大会、ゲートボール大会、ボウリング大会）

■全国障がい者スポーツ大会の北海道選手団派遣事業の実施

■スポーツ教室開催、指導者養成事業の実施



一般社団法人札幌市障がい者スポーツ協会【札幌市】

1. 活動の概要

札幌市内の障がい者に対するスポーツの普及と振興を図り、障がい者がスポーツを通じて体力の維持向上と、互いの交流を深めることにより障がい者の福祉の増進に寄与することを目的とする。

2. 寄付金の使い道・活動の成果

- 令和3年7月・12月、令和4年3月 スポーツ協会だよりの発行
- 令和3年7月～8月 スポーツ行事開催助成
- 令和3年9月18・25日・26日 初級障がい者スポーツ指導員養成講習会

3. 今後の活動予定

- 障がい者スポーツの普及啓発
- 障がい者スポーツの育成・助成
- 障がい者スポーツの指導者養成
- 障がい者スポーツの大会の開催・派遣



函館地区障害者スポーツ指導者協議会【函館市】

1. 活動の概要

障害者スポーツ指導員の養成、ボランティアの育成に努めると共に、障害者スポーツの振興を目指し、障害者の社会参加の促進に寄与する

2. 寄付金の使い道・活動の成果

- 総会(2021年5月 オンライン参加・会場参加のハイブリット形式で開催)
 - ・ コロナ感染拡大防止のため出席者の一部がZOOMを使用したオンライン参加にて開催
 - ・ ZOOM(PRO)利用料
- なれスポ・ボッチャクラブ設立(2021年11月～)
 - ・ 第1・3水曜日夜と第2・4土曜日午前中にボッチャの練習会を実施
 - ・ ボッチャシート購入費用
- なれスポ・クロリティークラブ設立(2021年11月～)
 - ・ 第2・4水曜日夜と第1・3土曜日午前中にクロリティー(※)の練習会を実施。
 - ※クロリティーとは、アメリカのホースシューズと日本の輪投げを組み合わせ考案された老若男女問わずに楽しめるニュースポーツ
 - ・ クロリティーセット(得点盤,リング)、クロリティーレーン、万能ベルト購入
- 座ったままのヨガ動画(2021年10月より製作中)
 - ・ 車いす利用者でもヨガが出来るよう、座ったままで出来るヨガの動画を製作中。
 - 完成後はYouTube公開する予定。
 - ・ ビデオカメラセット(カメラ、三脚、SDカード)購入

3. 今後の活動予定

コロナ感染拡大のため、座ったままのヨガ動画制作は一時中断しているが小康状態になり次第再開する予定。なれスポは練習日増加または種目増加で活動の拡大を図っていく。また、2022年度の総会もハイブリット形式で行う予定。

